

## 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 防災・安全交付金(国道道路改築(防災))事業(国道136号雲見松崎工区)

箇所名: 松崎町雲見～松崎町道部

照会者: 国道136号雲見～松崎拡幅事業の受益者等 8名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	南海トラフ地震等の発生が危惧される昨今、災害時の輸送路確保は喫緊の課題であることは防災関係者のみならず官民統一した意見であると認識しております。照会工区は降雨による規制、落石は常態化し、狭隘でカーブは連続し緊急車両の運転は緊張の連続です。緊急消防援助隊等の進入路の確保的な観点からも早急に災害に強い道路整備を防災的な観点からも強く要望します。	整備により狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保され、高度医療機関へのアクセス向上にも寄与できるため早期完成を目指し事業を推進する。
2	事業継続を要望	国道136号は、松崎幼稚園通園バスの運行ルートとなっております。また、当町小中学校の児童生徒は、本道路の路線バスを利用して通学しております。そのため、本道路は三浦地区(岩地・石部・雲見3地区の総称)の児童生徒の通園・通学に必要な不可欠な道路であります。児童生徒が通園・通学中に被災する恐れもあることから、落石や法面崩壊の防止等による安全な道路整備ため、本事業の継続を要望します。	整備により狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保されるため、早期完成を目指し事業を推進する。
3	事業継続を要望	松崎町道部～雲見間においては多くの狭隘箇所があって、大型車両のすれ違いなど通行上の危険と障害が多い。三浦地区の住民や観光客のみならず、南伊豆地域を周遊する多くの観光車両や業務車両等が通行して相当の交通量となっています。地形の特性がもたらす崩落等の自然災害への脆弱性と被災事故が危惧されることから、災害に強い道路となることを望みます。	整備により狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保されるとともに、観光バス等による観光交通のアクセス性の向上にも寄与することから、早期完成を目指し事業を推進する。
4	事業継続を要望	国道136号は、南伊豆町から松崎町の高校に通学する学生や観光振興のための重要な道路になっているが、狭隘部分については大型車同士すれ違いができない箇所がある。また、崩土や落石等の危険度も高く、防災面においても事業継続、促進を要望する。	整備により狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保されるとともに、観光バス等による観光交通のアクセス性の向上にも寄与することから、早期完成を目指し事業を推進する。
5	事業継続を要望	当路線は、三浦地区の住民の生活道路であるとともに、南伊豆方面への観光道路でもあるが、狭窄箇所やカーブにより路線バスなどの大型車両の擦れ違いが困難な場所が残っています。また、三浦地区だけでなく南伊豆方面への災害時の緊急輸送路であるが、雨量や落石等による通行規制により孤立する地区もあります。住民や観光客が安心して通行できる災害に強い道路整備は今後も必要であるため、事業継続を要望します。	整備により狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保され、高度医療機関へのアクセス向上にも寄与できるため早期完成を目指し事業を推進する。
6	事業継続を要望	国道136号は、伊豆西南海岸の観光ルートや道部～雲見地区の生活道路として重要な役割を果たしておりますが、現在も大型車のすれ違い困難な箇所が残っており、支障を来しています。また、南海トラフ地震とそれに伴う津波の危険性も指摘されていることから、災害時の孤立防止対策の意味からも1日も早い完成を目指し事業継続を要望します。	整備により狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保されるため、早期完成を目指し事業を推進する。
7	事業継続を要望	当区間は、大雨等による落石や斜面崩壊により通行止めとなり、住民しばしば迂回により不便を強いられている。また、狭隘区間では、観光バス等がすれ違いなく、観光客や地元住民にとって不便となっている。よって、災害に強い安全安心な道路、快適な走行のできる道路を要望します	整備により狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保されるとともに、観光バス等による観光交通のアクセス性の向上にも寄与することから、早期完成を目指し事業を推進する。
8	事業継続を要望	狭隘箇所やカーブが多いため、すれ違いが困難な箇所が多く、交通事故が日常的に危惧される。大雨や地震による被害が起きると生活面や観光面への影響が大きい。事業の継続を要望する。	整備により狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保されるとともに、観光バス等による観光交通のアクセス性の向上にも寄与することから、早期完成を目指し事業を推進する。

令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 道路改築事業

箇所名: 主要地方道吉田大東線

照会者: 主要地方道吉田大東線の受益者

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	地元住民はもちろんのこと、空港利用者や市民も待ち望んでいる道路である。是非、早期実現を要望する。	当該道路の完成により、空港へのアクセス性が向上し、物流や観光面等において更なる活性化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	地元住民からも本道路の早期建設を望む声を聞く。空港建設当時より本道路の建設を待っている住民も多いため、早急の整備を要望する。	当該道路の完成により、空港へのアクセス性が向上し、物流や観光面等において更なる活性化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	空港建設時より本道路の整備は約束事項であり、早急な整備を要望する。	当該道路の完成により、空港へのアクセス性が向上し、物流や観光面等において更なる活性化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	空港への利便性だけでなく、牧之原市産業の活性化、他市町を含めた人の交流、他市町へのアクセスなど牧之原市の主要道路になり得ると考えるため、早期の実現を希望する。	当該道路の完成により、空港へのアクセス性が向上し、物流や観光面等において更なる活性化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	空港のさらなる発展には本道路の整備が必要不可欠である。そのため早急な整備を要望する。	当該道路の完成により、空港へのアクセス性が向上し、物流や観光面等において更なる活性化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	早く事業に着手してほしい。	当該道路の完成により、空港へのアクセス性が向上し、物流や観光面等において更なる活性化に寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	早く事業に着手してほしい。 また、交差点部の安全対策をしっかりと検討してほしい。	当該道路の完成により、通学路の安全性向上や交通円滑化に寄与するものであるため、早期完成を目指して事業を推進する。交差点部の安全対策は、島田警察署と協議の上、適切に実施する。
8	事業継続を要望	同路線の改築により、空港へのアクセス向上が期待されるため、早期整備完了を要望する。	当該道路の完成により、空港へのアクセス性が向上し、物流や観光面等において更なる活性化に寄与するものと思われることから、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	現道は、従来から利便性の高い道路であり一定の交通量がある(菊川市と旧榛原町・吉田町の通勤・通学によく使われている)。一部幅員の狭い部分もあるため、安全性を考慮すると早期整備が必要と思われる。	現道は、通学路なっているが一部歩道が無いため危険となっている。バイパスの供用により通学路の安全性向上や交通円滑化に寄与するものであるため、早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	数年来の地元要望により、事業化が実現したと認識している。いままでその要望に変わりはない。新道の供用により、現道の交通量の減少を期待している。	現道は、通学路なっているが一部歩道が無いため危険となっている。バイパスの供用により通学路の安全性向上や交通円滑化に寄与するものであるため、早期完成を目指して事業を推進する。

# 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名： 広域河川改修事業

箇所名： 二級河川神宮寺川

照会者： 引佐町西四村自治会のうち、現場周辺在住の18名

担当課：河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	豪雨時に水神橋まで水位が上がってしまう。早期に橋梁を架け替えて川幅を確保して頂きたい。また、工事が始まったら現場が止まることなく進めて頂きたい。	橋梁の架け替えに3~4年程度かかるが予算を確実に確保し早期供用できるように努力していく。
2	事業継続を要望	新東名開通後に、降雨時の河川増水が顕著になってきた。川幅を広げて頂きたい。	昨年度に用地買収完了箇所について河道拡幅、築堤工事を実施した。引き続き、用地買収を進めていき事業の進捗を図っていきたい。
3	事業継続を要望	下流にある向島堰の撤去も計画であるが、橋梁架け替え後の河川増水時の状況を確認した上で堰の撤去、移設を検討したらどうか。	橋梁の架け替えを優先しており、堰の撤去、移設はその後になる。堰については橋梁架設後の状況を確認し検討していく。
4	事業継続を要望	現在施工している箇所より、上流側について整備計画があるか。	上流側の計画は現在は無い。橋梁架け替え、堰撤去、移設後に計画を作成する予定である。まずは現在の区間の整備に取り組んでいく。
5	事業継続を要望	橋梁架け替えに伴い市道は通行できなくなるのか。	市道は使えるように、浜松市と調整を行い取合い道路は整備していく。
6	事業継続を要望	築堤工事を昨年度実施して頂いたが、低いように感じる。さらに高くしないのか。	橋梁工事があり、築堤を優先してしまうと工事車両が入れなくなるため、現道と同じ高さまでとしている。橋梁工事に合わせ橋梁付近の堤防は高くなる。
7	事業継続を要望	堤防の高さをとにかく高くして頂きたい。左岸のほうが低いように感じる。	堤防の高さについては、計画高さがありその高さまでは整備するがそれ以上に高く整備する予定は無い。また、堤防高さは左右岸同じ高さで整備する。
8	事業継続を要望	向島堰の撤去、移設については関係者としっかり調整した上で事業実施して頂きたい。	関係者の了解が得られないと堰の撤去、移設は出来ないので調整していく。
9	事業継続を要望	水神橋の架け替え、旧橋撤去を行えば現状より安全になると思っているので早く工事を進めて頂きたい。	橋梁の架け替えに3~4年程度かかるが予算を確実に確保し早期供用できるように努力していく。
10	事業継続を要望	旧橋を撤去すると、迂回路が長くなり不便となる。旧橋を通しながら新橋を施工することは出来ないか。	左岸側については現在と同じ位置に下部工を施工することから旧橋を残すことはできない。上流側に迂回路があることから迷惑おかけするがご理解頂きたい。

# 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 広域河川改修事業(防災・安全交付金)

箇所名: 二級河川堀留川

照会者: 流域内関係自治会長及び住民 20名

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	河川改修により安心して生活ができるようになることを期待する。	異常気象(台風や大雨など)により、浸水被害が発生していることは十分認識している。早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	堀留川を考える住民会議や懇談会を開き、ようやく事業化されたのみ事業中止はありえない。早期に完成していただきたい。	引き続き、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	蛸塚排水路まで到達するのに30年もかかるのかかるようだがもっと早期に完成していただきたい。	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	先般発表された浜松市総合雨水計画に基づいて貯水槽を彦尾地区堀留川付近に設置していただきたい。最近の浸水リスクを考えると5年先まで待てるか心配ですが、県と市が一丸となって計画推進をお願いしたい。	市と連携を図りながら、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	下流側で工事を行っているが、上流側の工事も進めていただきたい。	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	去年の7月の雨でも道路が浸水していた。一日でも早く事業が終わってほしい。	異常気象(台風や大雨など)により、浸水被害が発生していることは十分認識している。早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	早期に工事は進めてほしいが、通学路や生活道路付近の工事では振動や工事車両の通行に十分注意していただきたい。	工事の安全管理を徹底し、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	上流側も用地買収を早期に行い円滑に工事ができるよう環境を整えてほしい。	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	堀留川だけでなく、堀留川に接続している水路でも浸水している。浜松市と協力して浸水被害を早期になくしていただきたい。	市と連携を図りながら、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努め、早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	改修事業の速やかな終了を期待する。	引き続き、早期完成を目指して事業を推進する。

## 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 浜松飛行場周辺障害防止対策事業

箇所名: 二級河川東神田川

照会者: 流域内関係自治会長及び住民 12名

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	雨が降ると一気に水量(水位)が上がるので川が広がるのは有効だと思う。	早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	早期に完成し安心して生活できるようにしてほしい。	引き続き、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	早期完成に向けて工事の範囲を長くしてもらいたい。	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	護岸が削れたり丸太護岸が壊れている箇所もあるため、護岸整備を実施していただき安心できる。	出水等により洗掘等されている箇所は把握している。早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	事業で川が広がることはいいことだが、川の中での工事で一時的に川幅が狭くなるのが心配。	工事の安全管理を徹底し、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	下流側を整備しているので上流側も早く進めてもらいたい。	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	橋の下の工事のため十分注意してもらいながら早期に完了して通行止めを解除してもらいたい。	工事の安全管理を徹底し、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	早期の事業完了を要望する。	引き続き、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	雑草で堤防の異常が分かりづらいが、整備されることでより安全な管理を期待する。	日常的な管理、利用しやすい環境を整えるべく早期完成を目指す。
10	事業継続を要望	土手に雑草が繁茂し、堤防上から河川内の状況が把握できない。また、大雨時にはゴミや流木が土手の竹に引っ掛かり川の流れを阻害しているが、護岸が整備されることで解消できると期待している。	日常的な管理、利用しやすい環境を整えるべく早期完成を目指す。

## 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 事業間連携河川事業(津波・高潮対策)

箇所名: 二級河川坂口谷川

照会者: 流域内関係自治会長及び町内会長 10名

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	津波対策は重要なため、工事半ばで中止はありえない。むしろ、早期完成を望む。 この津波対策以外にも、昨年の台風19号では坂口谷川支川の小河川であふれたため治水対策もお願いしたい。	早期完成を目指して事業を推進する。吉田町、牧之原市、県で検討委員会を立ち上げており今後流域の治水対策を検討していく。
2	事業継続を要望	早く完成してもらわないと困る。 大雨の時に水門の工事現場を見に行ったが早く完成してもらわないと困ると感じた	引き続き、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	水門は本当に必要である 大潮の時に心配になって工事中の水門を見に行ったが津波を考えると本当に怖かった。早く仕上げてくれることが地域の総意だと思う	早期完成を目指して予算を確保し事業を推進する。
4	事業継続を要望	作ってもらわなければ困る。今後L2対応もお願いしたい	早期完成を目指して事業を推進する。現時点ではL2対応は難しい。
5	事業継続を要望	事業継続を希望する。本当に津波が心配なので1日も早くやってほしい	地元住民の方の不安を肌で感じるので早期完成を目指し、事業を推進する。
6	事業継続を要望	継続を希望する。早く作ってもらわないと困る。合わせて住吉川の流れもよくしてほしい	早期完成を目指して事業を推進する。吉田町、牧之原市、県で検討委員会を立ち上げており今後流域の治水対策を検討していく。
7	事業継続を要望	とにかく早く完成してほしい。当然継続を希望する。中止はありえないと思う	早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	やってもらったほうがいい。昨年の台風でも下流の地域は浸水被害があって大変だったが、津波の被害も下流の人間が一番被害を受けるので早急に完成してほしい。	早期完成を目指して事業を推進する。吉田町、牧之原市、県で検討委員会を立ち上げており今後流域の治水対策を検討していく。
9	事業継続を要望	早期完成を望む。それが地域の総意だと思う。いつ地震が起こるかわからない中で本当に津波は怖いので本当に早く完成してほしい	引き続き、早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	事業継続を要望する。やっとならぬ市側の柱が完成しこれから吉田町側の工事に入るとのこと時間で時間がかかると思うができる限り早く完成してほしい	引き続き、早期完成を目指して事業を推進する。

# 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 総合流域防災事業

箇所名: 一級河川境川

照会者: 地区住民 21名

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	地元住民の安全のためにも、工事内容・工程等について地元と連絡を密にお願いしたい。	工事看板や回覧等により地元住民へ、工事内容・工事工程等を周知し、連絡を密にしていきます。
2	事業継続を要望	平成30年頃には完成予定と伺っていましたが、完成までに予定以上に時間を要しています。早期の改修を望みます。	早期の治水機能を発揮させるため、出来る限り早期に改修を実現します。
3	事業継続を要望	河川改修により洪水は流れるようになったが、河川が深くなり、子供が落下した時に助けに入るところが無いので一定間隔にはしご等を設けてほしい。また、転落防止柵の設置などの安全対策に配慮してほしい。	洪水の防止のみならず、安全対策についても、市との調整を図りながら推進する。
4	事業継続を要望	新橋がネックとなっており洪水時には周辺が浸水してしまう。浸水被害の軽減のため、事業の継続を要望します。	浸水が頻発している新橋付近を被災状況を踏まえ、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	昨年は、狩野川台風並みの台風が発生し、境川流域の御園、長伏、松本に避難指示が出て避難しました。これからも猛烈な雨を降らせる台風等で災害が起きる恐れがあるために河川改修は必要だと思います。	浸水が頻発している新橋付近を被災状況を踏まえ、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	洪水の防止に役立つ工事であるが、生態系の保全にも配慮してほしい。また、廃川区間の生態系にも配慮して頂きたい。	洪水の防止のみならず、可能な限り周辺景観、生態系に配慮した改修を進めていきます。
7	事業継続を要望	何度となく大雨が降ると境川が氾濫して物置が水浸しになったりして後片付けが大変でした。事業が完成すると安心になります。	浸水が頻発している新橋付近を被災状況を踏まえ、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	境川の護岸工事が洪水の防止に一定の効果を得られたことは認められる。しかし今後予想できないような大雨が降った場合、水害が出ないか心配である。	近年の異常気象(台風や大雨など)により浸水被害等災害が発生していることを踏まえ、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	現在も大雨が降れば新橋の所に雨水が集中し、すぐに通行止めにするのが現状です。三島側からの出水を早くコントロールして治水を完成させてほしいです。	浸水が頻発している新橋付近を被災状況を踏まえ、早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	きれいな境川を望みます。水の流れも良くなり、ぜひ続けて頂きたい。	洪水の防止のみならず、可能な限り周辺景観、生態系に配慮した改修を進めていきます。

# 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 立花寺沢

照会者: 保全対象を含む地区住民を対象に16人

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	心配なので、工事の早期完成を望んでいる。	興津川漁協による鮎の遊漁期(4月～10月)の工事制限があるが、効率的な工程計画を作成し、早期の完成に努める。
2	意見	家の裏の野菜畑より、30メートルかまたは20メートル位のところが切り立って、崩れそうです。	危険区域か、住家の有無を確認の上、急傾斜地崩壊対策事業での事業化が可能か確認する。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			



# 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 通常砂防事業

箇所名: 西の平沢

照会者: 保全対象を含む地区住民等を対象に15名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	回答のあった11名全員が危険渓流において砂防事業を進めていく必要性を感じている。	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進します。
2	事業継続を要望	砂防堰堤に土砂が堆積した場合、点検や取り除く作業は実施していただけるのでしょうか？	定期的に点検を行い、必要に応じて堆砂の除去をしてまいります。
3	事業継続を要望	砂防工事も大事ではあるが、自宅裏山が猪に荒らされ台風や長雨時に崩れはしないかと心配である。七夕豪雨の時に崩れた為、裏から家の中(庭へ)水が入って来たことを経験しているので心配である。	県では土石流対策の他、擁壁整備等のがけ崩れ対策事業も行っていますが、事業採択基準に合致せず施設を整備できないことも多々あります。日頃の備えと早めの避難を心掛けてください。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 湯谷北沢通常砂防事業  
 箇所名: 藤枝市岡部町岡部地区  
 照会者: 地元町内会役員4名、近隣住民4名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	土砂災害発生のおそれが大きいため、今後も砂防事業を進めてもらい、対策をお願いしたい。	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 火山砂防事業

箇所名: 下多賀小山沢

照会者: 保全対象を含む地区住民等を対象に12名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	回答のあった12名全員が危険渓流において砂防事業を進めていく必要性を感じている。	引き続き、効果的な施設整備をするため、進捗に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進します。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 地すべり対策事業

箇所名: 口坂本No.2

照会者: 口坂本住民 11人

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も地すべり対策事業を進める必要性を感じている。(11名)	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を進捗します。
2	事業継続を要望	現在の工事状況がよくわからないため、年に1回の防災訓練時の説明だけでなく、工事状況を教えてほしい。	工事実施期間と地すべり監視期間があるため、年に1回の防災訓練時の状況報告に加え、工事実施前をめぐり工事内容を地元へ周知するように心掛けます。
3	事業継続を要望	上落合から口坂本温泉間の道路の土砂対策をしてほしい。道幅の拡幅もお願いしたい。	県が実施する地すべり対策事業と併せ、道路管理者である静岡市において道路管理を実施することで、災害に強い地域づくりを目指します。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 地すべり対策事業

箇所名: 青谷

照会者: 保全対象を含む地区住民7名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	回答のあった4人全員が地すべり危険箇所において対策事業を進めていく必要性を感じている。	引き続き計器観測を実施します。地すべり変動を確認した場合は、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指します。
2	事業継続を要望	4～5年前に自宅の取付道路の地盤が下がっていて、市に直して頂きましたが最近同じ場所が下がりがつあります。地すべりに関係ありますか？	計器観測時の現地踏査にて観察する等、注視していきます。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名: 広岡理源山地区

照会者: 広岡理源山地区急傾斜地崩壊対策事業の受益者及び市担当者 10名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も急傾斜地崩壊対策事業を進める必要性を感じている。(9名)	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を進捗します。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名: 長沼五郎松地区

照会者: 長岡五郎松地区急傾斜地崩壊対策事業の受益者及び市職員 67名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も急傾斜地崩壊対策事業を進める必要性を感じている。(57名)	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を進捗します。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

# 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業  
 箇所名: 平松藪下B地区  
 照会者: 平松藪下B地区急傾斜地崩壊対策事業の受益者及び市職員 15名

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も急傾斜地崩壊対策事業を進める必要性を感じている。(15名)	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を進捗します。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			



# 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 地すべり防止事業

箇所名: 浜松市天竜区龍山町瀬尻(下里)

照会者: 森林所有者、地元自治会等 9名

担当課:

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	今後も地すべり地すべり防止事業を進める必要性を感じている(回答者9名全員)	引き続き効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を進捗します。
2	事業継続を要望	地すべりが拡大すれば先祖からの山林が無くなってしまふ。国または県で土地を買い取って自由に安全対策の工事をしてほしい。	治山工事に伴い個人の土地を買い取ることはできませんが、対策工については、引き続き効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を進捗します。
3	事業継続を要望	できうる限りの対策をして、安全・安心を確保してほしい。	引き続き効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を進捗します。
4	事業継続を要望	集水ポーリングと集水井、アンカー工で大丈夫か。	調査結果に基づき、効果的かつ効率的な工法を選択し、事業を実施しています。 工事内容説明時に一般の方々に御理解いただけるよう心がけます。
5	事業継続を要望	南海トラフ巨大地震でも崩壊しないような対策を実施してほしい。	費用対効果を見極めながら適切に事業を実施します。
6	事業継続を要望	通行止めになった場合の迂回路の確保をお願いする。	移動の支障が極力少なくなるよう道路管理者(浜松市)と調整します。
7			
8			
9			
10			

令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 海岸(高潮)事業

箇所名: 沼津港海岸

照会者: 海岸(高潮)事業の受益者 13名

担当課: 港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	人命に関わる事業なので事業を継続して安全な港にしてもらいたい。	東日本大震災による津波被害の知見を踏まえ、策定した静岡県第4次地震被害想定とその対策を定めた静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013に基づき、引き続き想定される被害をできる限り軽減する施設整備を推進する。最大級の津波に対しても施設整備による減災効果と避難を組み合わせた多重防御により海岸や港で働く人々の命を守る。整備に必要な財源については、法人事業税の超過課税や個人や法人からの寄付金を活用するなど、可能な限り確保に努め早期完成を目指す。
2	事業継続を要望	予想される津波対策としても周辺には高台もなく、海岸の防潮堤は脆弱なため、人命・財産を守る事業の継続をお願いしたい。	
3	事業継続を要望	人命に関わる事業なので早期完成をお願いします。	
4	事業継続を要望	東海地震が予想されて何年も経つが、近い将来に地震、津波が発生したときに人命、財産を守ってもらう意味からも必要な事業であると考えから。	
5	事業継続を要望	今までに相当の事業費を費やして来たと思うが、未完成のままでは、何の効果も現れない。	
6	事業継続を要望	自然災害は、いつ起きるかわからないので、早め早めの準備が必要だし、住んでいる人にとっても安心して住める街になるので、継続をして早期完成をしてもらいたい。	
7	事業継続を要望	事業継続で沼津港の安心・安全をお願いします。中断しては、今までの事業が意味を持ちません。何とか事業継続、完成を目指してください。	
8	事業継続を要望	津波被害を防ぐためには絶対に必要な事業のため、早期に完成してもらいたい。	
9	事業継続を要望	災害被害のリスクを軽減する為にも一刻も早い完成をお願いします。まずは、ハード面を充実させてほしい。	
10	事業継続を要望	地震、津波等の災害があった場合、被害が無い様に安全対策としてしっかり作り上げて欲しい。	
11	事業継続を要望	住民、観光に来る方々の人命に関わる事業なので、優先して事業費を増額し、早く完成してほしい。	居住者だけでなく、来訪者等の津波浸水域内の人命を守るため、浸水深や浸水域の減少、津波到達時間を引き延ばす等の減災が期待される施設整備を行い安全・安心な港づくりを推進する。
12	事業継続を要望	日本各地において大地震が発生しているが、東海地方は空白域になっていていつ大地震が発生してもおかしくない状況であり、沼津港付近においては、年間190万人の観光客が訪れる場所なので、被害を軽減するためにも事業を継続し、早期に完成することを要望する。	
13	事業継続を要望	沼津市の観光の中心でもある沼津港に安心して観光のお客様が来ていただけるよう、津波や高潮対策は継続して行っていただきたい。	

# 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: 港湾改修事業

箇所名: 下田港

照会者: 伊豆漁業協同組合(佐藤組合長、鈴木総務担当参事)

担当課: 港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	第4バースまでが完成し、供用をしているが、荒天時における船舶避難や平時における水揚げに大変役立っているため、少しでも早く全バースが使用可能となるよう、事業を進めてもらいたい。	事業完了まで残り僅かであることから、早期完成を目指し事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: (都)焼津広幡線(越後島工区) 街路整備事業

箇所名: 焼津市八幡四丁目～焼津市越後島 地内

照会者: 地元自治会関係者 計23名

担当課: 街路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業の継続を要望	渋滞がひどいので、道路整備を進めてもらいたい。地域活性化のため、事業を継続してもらいたい。	交通集中や右折車線の不足によって渋滞が発生していることは認識している。本路線の整備が、渋滞解消と生活環境の向上に繋がるものと考えている。本路線は重要物流道路に指定されているため、平時・災害時問わず安定的な輸送が可能となるよう、早期完成に向け事業を推進していく。
2	事業の継続を要望	歩行者の安全確保のため歩道整備を進めてもらいたい。歩道は3m程度でいいのではないか。	現道は歩道が狭く、また大型車が多いため、歩行者にとって危険な状況であることは認識している。本路線の整備が、歩行者の安全確保に繋がるものと考えている。歩道幅員については、自転車歩行者道として整備する計画としており、幅員を4.5mとしている。
3	事業の継続を要望	用地買収も進んでいるので、早期の完成を要望する。藤枝市側は長期間かかっているため、スムーズに進めてもらいたい。	引き続き買収箇所の整備を進めるとともに、未買収地の交渉を行い、早期完成に向け事業を推進していく。
4	事業の継続を要望	災害に強い道路とするため、電柱をなくしてもらいたい。	本事業に限らず、震災時のアクセス機能等の向上や景観阻害の観点からも市街地における無電柱化については積極的に検討していくべきと考えている。今後、地元自治会からご意見が出され、焼津市役所や電線管理者からの要望及び協力体制が整えば、県としても検討していく。
5	事業の継続を要望	交差する市道の右折レーン・信号機の増設、歩行者用信号機による安全な交差点整備をしてもらいたい。既設信号機の右折時間(矢印)を長くしたり、右折矢印を追加してもらいたい。道路横断の地下道等をお願いしたい。	市道側の右折レーンや本線の信号機及び地下道の設置等については、道路利用者の安全が図れるよう、公安委員会や焼津市役所など、関係機関と協議して対応を検討していく。
6	事業の継続を要望	センター分離帯を設けた道路で「安全で安心できる主要道路」の役割を果たしてもらいたい。	本路線は中央分離帯を設ける計画としているため、対向車両や合流車両との事故危険性を低減することができるものと考えている。
7	事業の継続を要望	東名高速道路の函渠工事による自転車・歩行者の迂回路が示されましたが、現状ほとんど利用されていないと思われる。長期にわたる期間のため昼間・夜間、安全に通行できるよう配慮してもらいたい。	施工期間中の誘導路については、自転車、歩行者が安全に通行できるよう配慮し施工していく。焼津市役所や工事受注者など、関係機関と協議して対応を検討していく。
8	事業の継続を要望	取付道路の歩道への樹木の設置は歩道がせまくなる。後々の手入れ・掃除が大変になるので遠慮してもらいたい。側溝へ蓋を取り付けてほしい。(落下防止、雑草、ゴミ対策)	利用者の安全性向上や地域の環境対策を考慮し、関係機関と協議を進めていく。
9	事業の継続を要望	焼津広幡線だけでなく迂回路の充実と周辺道路の整備拡幅なども計画してもらいたい。朝夕の通勤時間帯には30kmを無視して高速で通っているのが心配である。迂回路の中央配水路について、法面の防草策をお願いしたい。また暗渠にして道路の拡幅をお願いしたい。	迂回路と周辺道路の整備については、焼津市役所をはじめ関係機関と連携し、安全に配慮した整備を検討していく。
10	事業の継続を要望	大型トラックを通りやすくしても人や自転車は危険になるだけである。最近、以前に比べてトラックの通行量が増えているため、もっと人や自転車の安全を考えてもらいたい。地区住民が安心して生活できる道路事業をお願いするとともに脇道への交通量が非常に心配。	本事業の整備により4.5mの自転車歩行者道を確保するため、現状に比べて安全性は向上すると考えている。地域住民の方への安全性が損なわれないよう、各関係機関と協議して整備を進めていく。
11	事業の継続を要望	近年の異常気象による水害(災害)等の影響がないよう公共事業の対応工事でしっかりと対策を考慮してもらいたい。	4車線化によって、平時・災害時問わず安定的な輸送が可能となるよう、早期完成に向け事業を推進していく。
12	事業の継続を要望	トンネル(地下道)の安全対策と防犯対策を十分に取組んでもらいたい。(スロープや照明の設置)	各種設置基準に基づき安全対策、防犯対策に取り組んでいく。

# 令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料5

事業名: (都)谷田幸原線(幸原町工区)

箇所名: 三島市幸原町 地内

照会者: 地元自治会関係者、地元住民、自治体関係者、小中学校関係者 計20名

担当課: 街路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業の継続を要望	用地買収もかなり進んでいるので、早期の完成を要望する。 用地買収から工事完成までの期間が長すぎる、もっと早く工事を進めて欲しい。	引き続き買収済み箇所の整備を進めるとともに、未買収用地の交渉を行い、早期完成に向け事業を推進していく。
2	事業の継続を要望	通学路や歩行者の安全確保のため、歩道整備をお願いしたい。	現道が狭隘で歩道がないため、歩行者にとって危険な状況となっていることは認識している。本路線の整備が、歩行者の安全確保につながるものと考えている。
3	事業の継続を要望	渋滞がひどいので、道路整備を進めてもらいたい。	現道付近では、朝晩の時間帯を中心に慢性的な渋滞が発生していることは認識している。本路線の整備が、渋滞解消と生活環境の向上につながるものと考えている。
4	事業の継続を要望	地域の活性化のため、道路整備を継続してもらいたい。	本路線のある三島市内では、三ツ谷工業団地への企業進出や観光吊橋が営業開始し、雇用や住宅ニーズ、観光流動の増加が見込まれるため、早期完成に向け事業を推進していく。
5	事業の継続を要望	(都)三島裾野線(県道三島裾野線)へ抜けるには、狭小幅員の道路を通らねばならないが、交通量も多く危険なため、早期完成をお願いしたい。 通勤が非常に楽になる。細い道が多いので、大きい道ができるのはうれしい。	本路線の整備が、東西方向の通過交通を市街地内から排除し、渋滞解消と生活環境の向上につながるため、早期完成に向け事業を推進していく。
6	事業の継続を要望	当地域には、4車線の東西方向の幹線道路(ネットワーク)がないため、早期の整備を望む。	本路線は、(都)片浜池田線や(都)池田柵線と一体となって新東名高速道路・東名高速道路・国道1号ならびに国道246号を接続し、東駿河湾広域都市圏の市街地環状道路に位置付けられるため、早期完成に向け事業を推進していく。
7	事業の継続を要望	道路整備による交通混雑の緩和や地域活性化はもとより、予想される大規模地震に備えた市町間の連絡路としての役割が大きいので、未整備の徳倉第2工区とともに早期に整備することを望む。	本路線は、(都)片浜池田線や(都)池田柵線と一体となって新東名高速道路・東名高速道路・国道1号ならびに国道246号を接続し、災害時のアクセス性の向上が図られるため、早期完成に向け事業を推進していく。
8	事業の継続を要望	大きな道(本線)に抜ける道(取付道路)が造られるようですが、道路幅を広くして欲しい。	取付道路に関しては、関係機関と協議して必要な整備を行っていく。
9			
10			

令和2年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方（案）

資料5

事業名： 公害防止対策事業  
 箇所名： 田子の浦港  
 照会者： 公害防止対策事業の受益者 12名

担当課： 港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	事業の大部分が完了しているとの事なので、この際最後まで完了させた方が良いと思う。	事業を継続し、早期事業完了に努める。
2	事業継続を要望	事業を継続し、安全で安心して働くことができる港にして頂きたいです。	事業を継続し、早期事業完了に努める。
3	事業継続を要望	ダイオキシンは非常に毒性の高い物だと聞いています。港内の一部で環境基準を超えている汚染物質が確認されて安全な処理、処分を行っていると言われていると報告されています。今後も予定通り、全て処理を行って頂き、近隣の住人が安全で安心して暮らせる環境を整えてもらいたい。	全ての汚染土砂を除去するためにも事業を継続し、早期事業完了に努める。
4	事業継続を要望	鈴川海岸整備事業にかかる協定書（H24.7.30）第4章第21条2に準ずること。事業継続結果を月次報告すること。処理地を明確に報告すること。早い処理を希望する。	事業を継続し、早期事業完了に努める。必要な事項については適宜報告する。
5	事業継続を要望	港湾の維持管理の為に必要なことであります。安全・安心が基本。住民に不安を与えないような情報提供は大切。全体の状況を常に把握し、今後も、タイムリーな対応をお願い致します。	事業を継続し、早期事業完了に努める。適時・的確な情報提供に努める。
6	事業継続を要望	2年間もかけないで、早く完了させる方が、いろいろの面で良い。54.2万m <sup>3</sup> の土砂除去の一部事業として、3,000m <sup>3</sup> 分は従来と同じと云う事で実施したらどうか。	事業を継続し、早期事業完了に努める。
7	事業継続を要望	これまで事業を進めて来ているので見直し、中止等は考えず早く安全・安心な港にする様努力して欲しい。近隣住民も周辺の自然環境には注視しているので充分考慮しながら早く完了する事を望みます。汚染海底土についても今後2年間かけて・・・とあるが、今まで同様の処理方法で私達は早く完了する事を願います。	事業を継続し、早期事業完了に努める。
8	事業継続を要望	事業を迅速に進めて欲しい。地元住民が安心して住める環境整備を希望します。最終的に、環境基準値は、正確なものを測定し、埋立処理を終了して欲しい。	事業を継続し、早期事業完了に努める。
9	事業継続を要望	周辺環境に影響のない方法で事業を進めて欲しい。港内や周辺海域、周辺地域の自然環境を維持して欲しい。公害防止対策事業を最後まで継続し、安全・安心な港にして欲しい。	事業を継続し、早期事業完了に努める。
10	事業継続を要望	・田子の浦港底質（ダイオキシン類）浄化対策事業計画（平成16年6月） ・富士地域公害防止対策事業計画（平成30年3月） に従い、計画通り事業を遂行して下さい。	計画に則り事業を継続し、早期事業完了に努める。
11	事業継続を要望	自然環境の為、事業を進めてほしい。	事業を継続し、早期事業完了に努める。
12	事業継続を要望	早く完了して、安全な港にしてほしい。	事業を継続し、早期事業完了に努める。